

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造園材料	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	造園施工必携 日本造園組合連合会、葉っぱでわかる造園樹木図鑑 講談社				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	右田順三	実務経験の有無・職種	有・造園設計		
<b>学習目的</b>					
造園のみならず建設業に携わる者として社会に出て通用する最低限の知識を身につけること、さらに、一般に造園材料とは樹木や石などと狭い範囲に思われているが、自由な発想を身につけ周りの全ての「モノ」が造園材料として利用出来る事を知ることなどを学習目的とする。					
<b>到達目標</b>					
造園の材料についての設問は国家資格の試験に必ず出題される項目である。造園材料では、次の4点を到達目標とする					
① 建設業で使われている材料の金属、石、砂、木材、樹木などの主な素材の性質を理解する。					
② 前掲の素材で出来ている造園材料の二次製品と使われ方を理解する。					
③ 理解と協力によりグループの自由な発想で課題を完成し発表できる。					
④ 目的を持って見ることの大切さを理解する。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	教科書を使用して一般的な造園材料の性質や使われ方を理解する事を目標に進めていく。その他に個人又はグループによる課題作業が有り、造園材料の使われ方を理解し協力して課題を完成させ発表するプレゼンテーションをおこなう。また、「今日の植物」と題して、植物を紹介していくので、一つ一つ確実に覚えること。				
注意点	理由のない遅刻や欠席は無い様に心がける事。授業に出席するだけでなく私語は慎む事。社会人としての受講マナーで授業に参加する事。グループ作業の時は進んで役目をこなすこと。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験	60%	教科書及び配布資料の内容を試験して評価する。		
	課題・発表	30%	創造性、発表内容、発表方法、作業状況により評価する。		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	建設業の中の造園業、造園材料の概説	仕事や働き方を選ぶ基準について理解する。			
2回	造園材料と植物①	造園材料としての植物の特性を理解する。			
3回	造園材料と植物②	屋外観察で植物の違いが有ることを理解する。			
4回	石材と石造品	造園材料としての石材の特性を理解する。			
5回	石材と石造品に代わる材料	石造品に代わるさまざまな材料の特性を理解する。			
6回	木材と竹材	木材と竹材の特性を理解する。屋外観察で空間を構成している物の違いで、人の感じ方が違うことを理解する。			
7回	セメントとコンクリート	セメントとコンクリートの性質と取扱いについて理解する。			
8回	金属材料、樹脂材料、その他の材料	造園材料としての金属、樹脂の特性を理解する。			
9回	課題：住宅の材料①	多種なる造園材料の中から自分なりの材料を選び、その役目を理解する。			
10回	課題：住宅の材料②	多種なる造園材料の中から自分なりの材料を選び、その役目を理解する。			
11回	造園と雨水	造園に関係無く思われる雨水の流れと処理方法を観察し理解する。			
12回	課題：子供の遊び場①	課題を通して、グループ内外の考え方の違いを理解する。			
13回	課題：子供の遊び場②	メンバーの意見をまとめ、プレゼンテーションすることができる。			
14回	総まとめ①	各種造園材料について、それぞれの特性、取扱いを理解する。			
15回	総まとめ②	各種造園材料について、それぞれの特性、取扱いを理解する。			